

総合病院に拡張

奇病対策にも全力

水俣市会

定例水俣市会三百目の八日は午前
十時から一般質問に入り鬼塚議員
(革新)が市立病院の増設計画、
山口議員(無所属)が月ノ浦部落
の奇病対策、湖上議員(自民)が
地方交付税、仁王木林道、養老院
拡張問題についてそれぞれ質問し
た。これに対してまず副市長が
答覆、

病院の増設は起債獲得とにらみ
合せて行い、眼科、耳鼻咽喉科
を設け総合病院とするつもり。
奇病については熊大医学部や地
元の奇病解明対策委員会、病原
体の究明に全力をあげている。

一昨伝えられた井戸水による媒
介は根拠がなく、簡易水道を敷
設してほしいという要望も財源
難と水源池の問題で当分見込み
がない。市としては当面の措置
として専ら環境衛生に重点を置
く方針でいる。

と回答、田中衛生課長からも答弁
があった。最後に本年度交付税は
三百九十万円で他市に比べて二千
万円もの差があるのはどうした訳
かという質問に対して渡辺総務課
長から、

税法改正、交付金などの関係で
決つたものだが、一番の理由は

市税収入が新設家屋の増加と新
日寧工場の拡張による固定資産
税や電気ガス税の増加で昨年よ
り一千七百万円増えたため、財
政力が伸びた証左である。

と答え、養老院の拡張については
深野民生課長から、厚生省の方針
が養老院をもため都市の新規建設
を第一としているので本年度の拡
張は困難だが、明年度からは一応
現在の収容定員三千人を千人程
度増加したい考えだ、とのべ正午
散会した。